

新型コロナウイルス感染症対策基金の実績及び事業実施のご報告

この度は、日本赤十字社愛知県支部新型コロナウイルス感染症対策基金に対し格別のご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、本基金には、令和2年5月1日～令和2年12月31日までの間に208の個人・法人様から52,690,399円のご寄付を賜り、下記の事業に充当させていただきましたのでご報告申し上げます。

日本赤十字社愛知県支部
支部長 神田 真秋

記

1. 新型コロナウイルス感染症対策設備及び医療材料等の整備
事業額：177,135,784円
内基金充当分：34,816,000円
X線撮影装置、ICU/救急外来用モニタリングシステム、アルコールタオル等
2. 新型コロナウイルス感染症対策用災害救護物資の整備
事業額：11,415,580円
内基金充当分：8,937,200円
避難所用マスク、消毒液、段ボールベッド、パーティションの備蓄
3. 新型コロナウイルス感染症対策にかかるその他必要な事業
事業額：25,069,597円
内基金充当分：8,937,199円
児童養護施設・外国人学校及び日本語教室における児童・生徒への学習支援機器の配備、感染防止啓発事業、子ども支援団体への活動費助成事業

総事業額：213,620,961円
充当額合計：52,690,399円

新型コロナウイルス感染症対策基金の事業実施の詳細について

1. 新型コロナウイルス感染症対策設備の整備

新型コロナウイルス感染症対策用医療材料等の整備

- (1) 名古屋第一赤十字病院、名古屋第二赤十字病院において新型コロナウイルス感染症疑いの患者さんの診療などに必要な医療機器の整備を行いました。
- (2) 愛知県内の献血会場における感染対策に努め、感染対策物品の整備を行いました。
- (3) 日本赤十字豊田看護大学において、学生の遠隔授業及び実習・演習にかかる設備の整備を行いました。



医療施設へ配備された医療機器



アルコールタオルの整備（血液センター）

2. 新型コロナウイルス感染症対策用災害救護物資の整備

新型コロナウイルス感染症蔓延期においても、台風や豪雨災害などの災害が発生する可能性は常にあり、災害が発生した場合は、避難所などでの感染防止に努める必要があります。今回、避難所が設置された際に、感染防止を図れるようマスク・消毒液・段ボールベッド・パーテーション等の整備を行いました。



段ボールベッド・パーテーション等



避難所用備蓄消毒液

3. 新型コロナウイルス感染症対策にかかるその他必要な事業

(1) 児童・生徒への学習支援事業

新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、「新しい生活様式」に合わせたオンライン学習の必要性が高まる中、児童養護施設や外国人学校・日本語教室などは通常時からタブレットの整備やインターネット環境の整備が行えていない場合も多く、子どもたちの学習環境を守るために、県内の約70施設に学習支援用にタブレットとWi-fi環境を整備いたしました。

(2) 県内の小中学校への新型コロナウイルス感染防止に関する教材提供事業

新型コロナウイルスがもたらす不安や差別についてわかりやすく説明するとともに、「もし自分が体調を崩したら」、「友達が感染したら」など、身近な例を挙げて考えられる内容の教材を配布しました。



学習支援用タブレット



小中学校向け啓発教材

(3) 子ども支援団体に対する助成事業（48団体）

日本赤十字社では、従来から青少年赤十字などの活動を通じて、子どもの健全育成にも取り組んでおります。

一般の感染症蔓延に伴い、感染防止や活動場所確保のために、緊急的に費用が必要となった団体が数多くあることから、愛知県内で活動している子ども・子育て支援活動を行っているNPO団体に対し、助成事業を実施しました。

(4) 感染防止啓発事業（啓発教材作成）

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐために、一人ひとりが感染対策について知識を得ることが重要と考え、医学的専門知識を有していない方でも理解しやすいよう、イラストで伝える感染防止啓発教材を作成いたしました。

作成した教材は、愛知県内の青少年赤十字加盟校や地域の赤十字窓口、郵便局へ配布しました。

